



# Textile Exchange 認証

2023年10月  
一般財団法人ケケン試験認証センター  
認証事業部 丸茂 征也

# 1. Textile Exchange

---



## Textile Exchange

- Textile Exchangeは、2002年に設立された非営利団体。(もともとOrganic Exchange)
- 40以上の国で800以上の企業がメンバーに加盟している。
- Misson: テキスタイルバリューチェーンでの“**preferred fiber**”の採用を加速するよう人々を啓発しています。私たちは、業界全体にプラスの影響を与えるための全体的なアプローチの一環として、炭素削減、土壌の健康、水、生物多様性に焦点を当てています。
- Vision: 繊維および材料生産における紡績前の生産段階で、繊維産業が2030年までにGHG排出量(CO2換算2019年比)を45%削減できるように指導しています。
- Strategy: 信頼できるデータとレポート、市場ベースのソリューション、および一企業や組織だけではできないことを実行できるコミュニティを提供することにより、繊維業界の気候変動対策を加速することが私たちの戦略です。

## 2. Textile Exchangeの”Preferred Fiber”

---

Textile Exchange は、世界中における”Preferred Fiber”(より好ましい繊維)の普及率を上げるための活動をしている。

綿・・・Fairtrade, Organic, CmiA, BCIなど

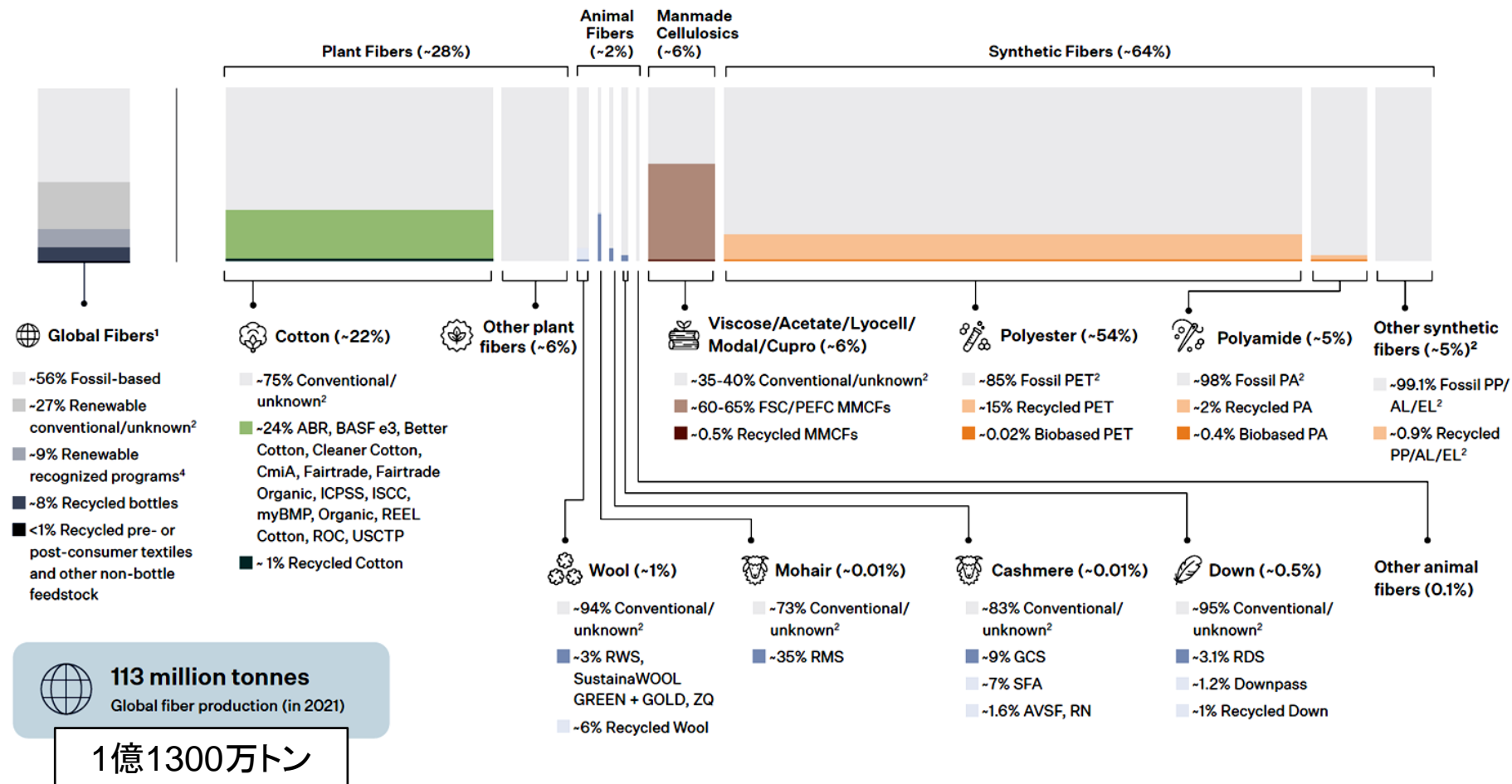
ポリエステル, ナイロン・・・ Recycled PET (PA)、  
Biobased PET(PA)など

再生セルロース繊維・・・FSC/PEFC MMCFs  
(森林認証由来原料)など

動物繊維・・・RAF(RWS, RMS, RAS), RDSなど

# 3. 世界の繊維生産における”Preferred Fiber”

## The global fiber market 2021: Program overview



## 4. "Preferred Fiber"の利用を促進させるための基準



### Recycled Claim Standard(RCS)

正当に回収されたリサイクル原料の検証・追跡。



### Responsible Wool Standard(RWS)

羊毛原料(動物福祉と土壌汚染と社会的責任に配慮した牧場で産出された) 検証・追跡。



### Responsible Down Standard(RDS)

羽毛原料(動物福祉に配慮した牧場で産出された) の検証・追跡。



### Organic Content Standard(OCS)

最終製品におけるオーガニック栽培原料の含有量の検証・追跡。

Contents  
Claim  
認証のみ



### Global Recycled Standard(GRS)

リサイクル原料の検証・追跡に加え、各サプライチェーンが社会的責任・環境への活動・化学物質規制の基準を満たしていることを検証する。

# 5. 各TE認証基準構成



## 6. CoC認証とは？

---

### CoC (Chain of Custody) : 生産物流管理

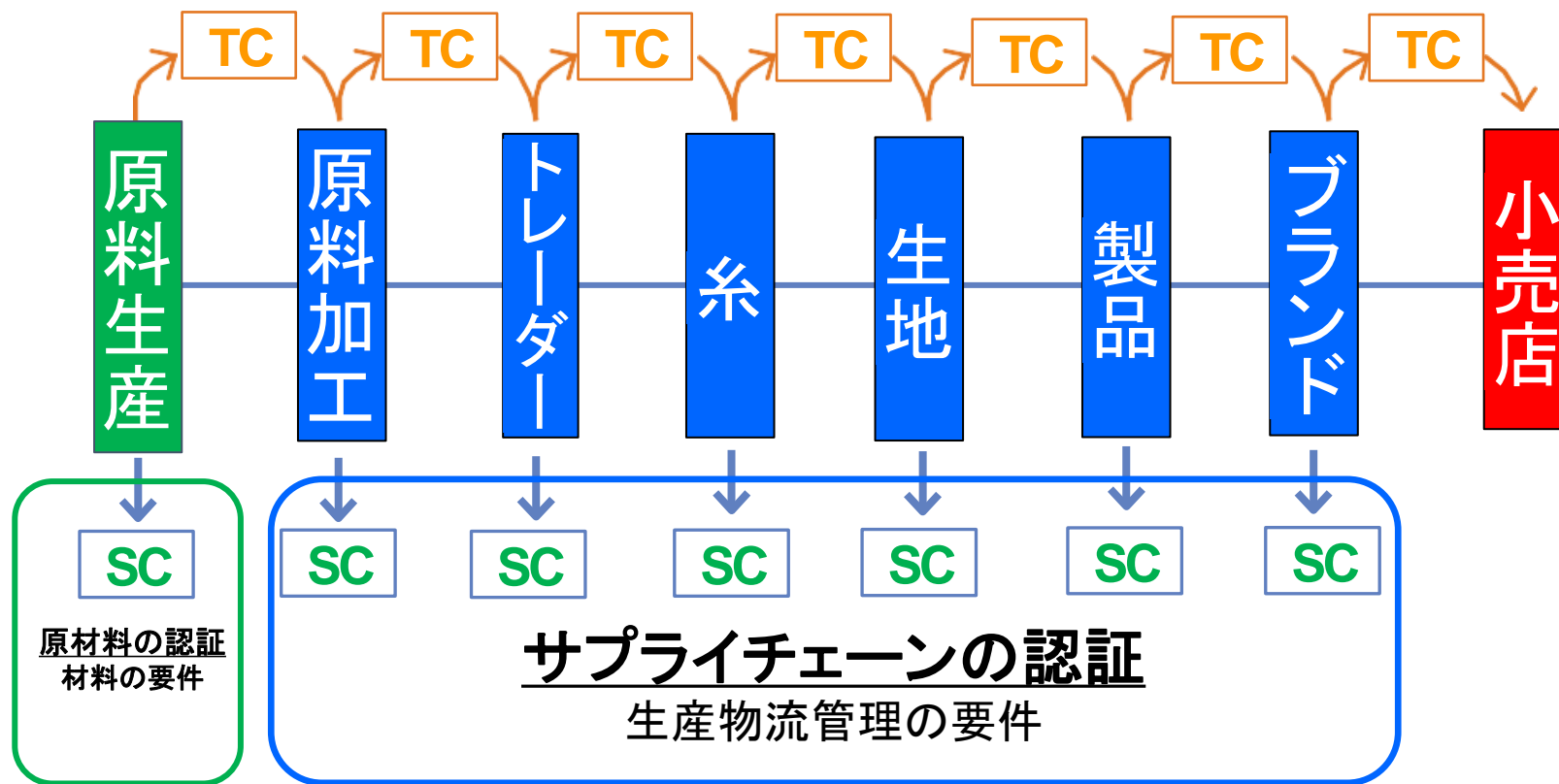
#### CoC認証:

原料生産で認証を受けた認証材(オーガニック、リサイクル、動物福祉配慮など)が加工・流通過程を経て最終消費者へ届くすべての段階において、確実に使用されていることを**第三者(認証機関)**によって確認すること。

## 7. Textile Exchange 認証における CoC 認証の仕組み

### Transaction Certificates (TC)

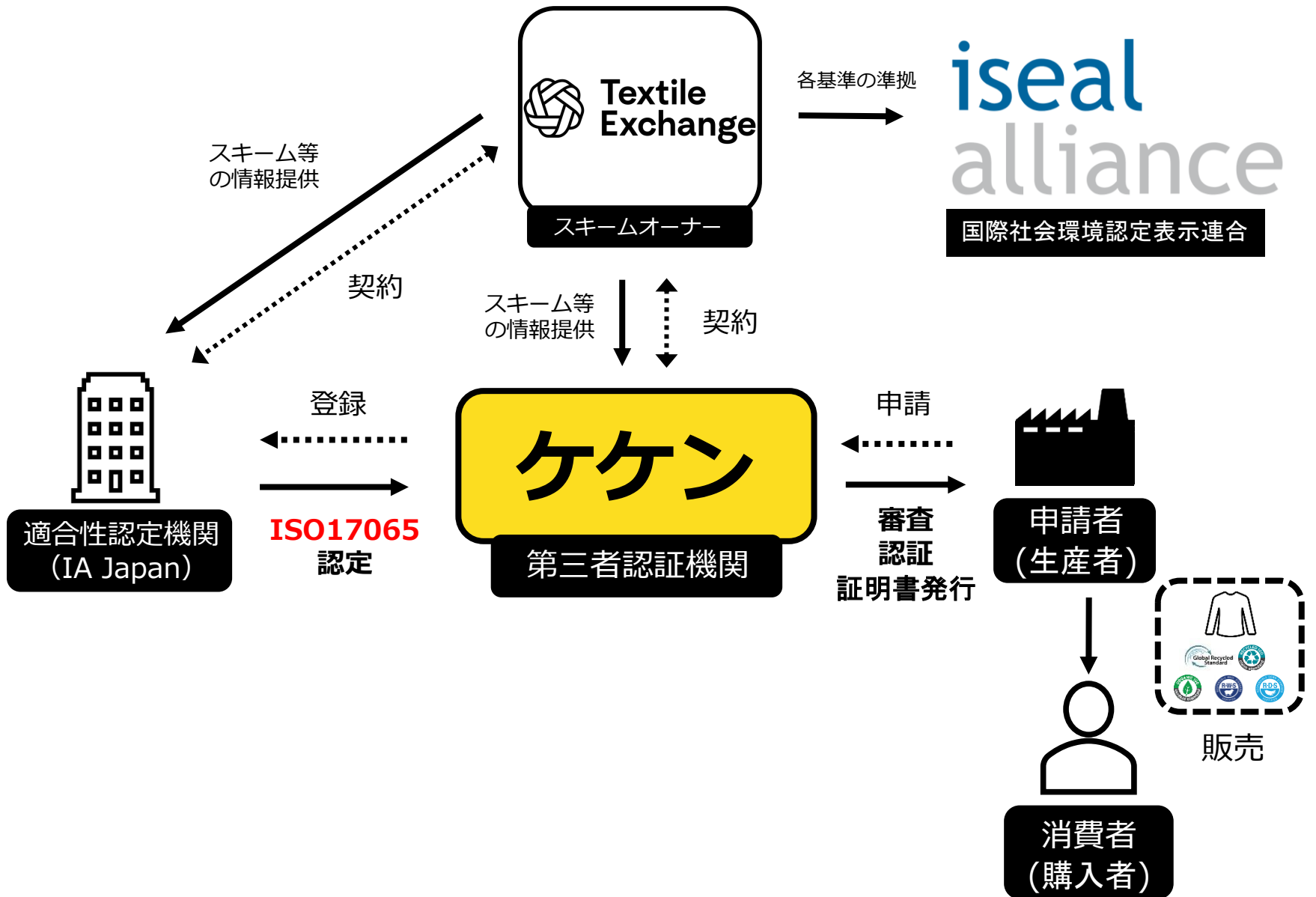
次の企業に出荷される商品が認証資格を有していることを証明する文書



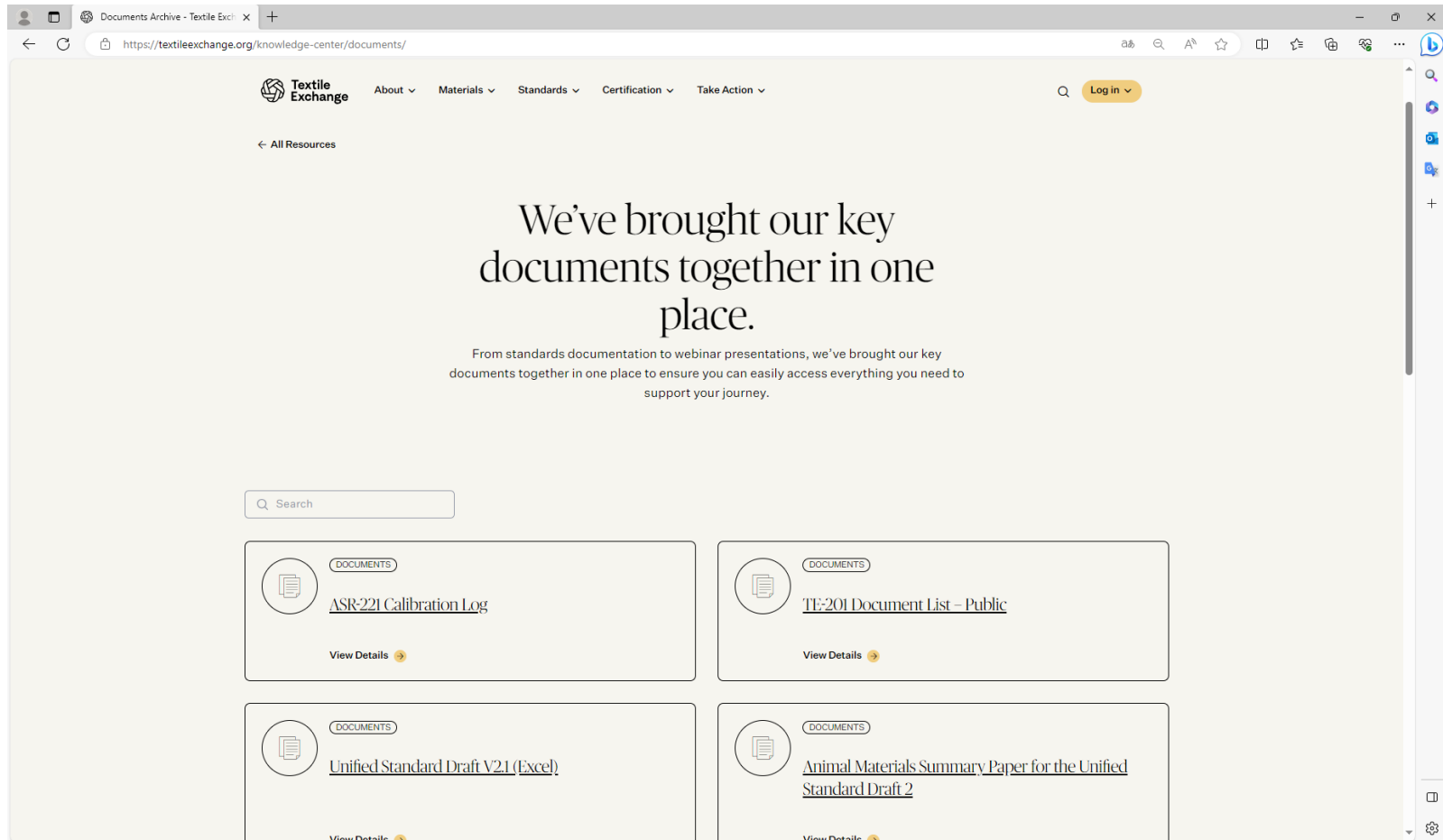
### Scope Certificates (SC)

各工程が基準に従って商品を生産する資格があることを実証する文書

## 8. 公平性、透明性の高い第三者認証

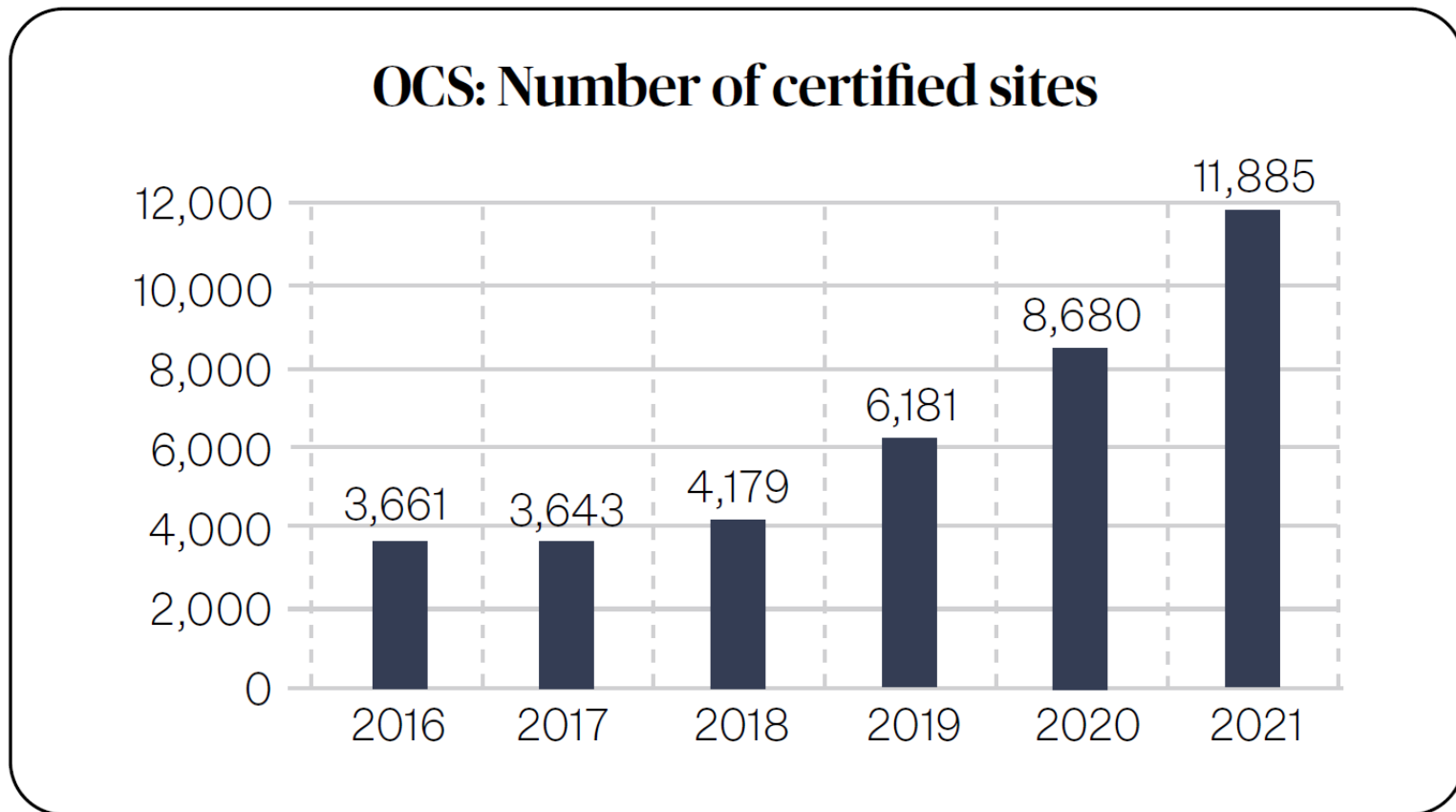


## 9. 認証規格関係文書の公開



認証関係文書は、ほぼすべて公開されている。  
<https://textileexchange.org/knowledge-center/documents/>

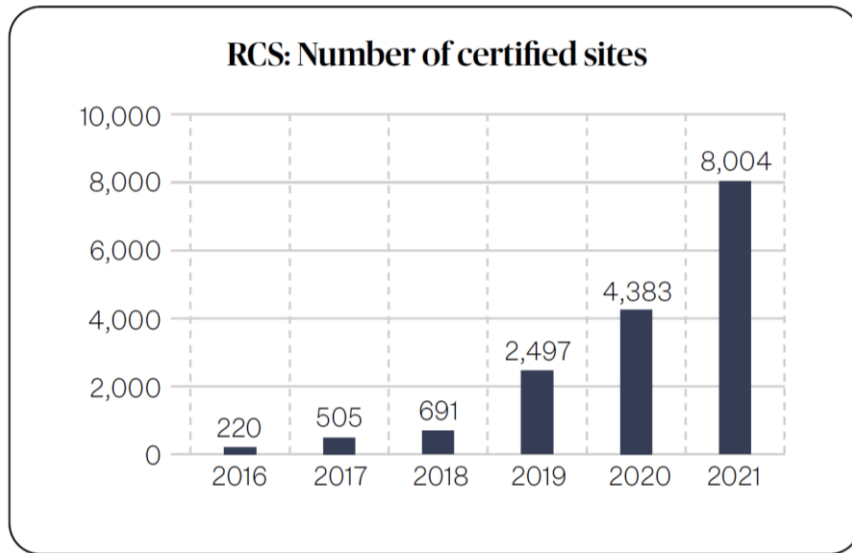
# 10. 認証取得状況 OCS



**国内 64サイト 2023年10月現在**

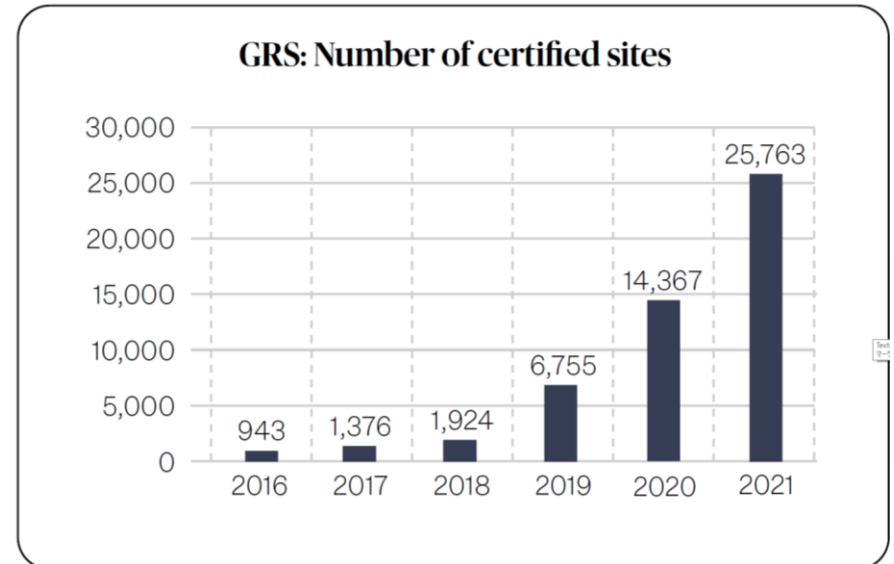
# 11. 認証取得状況 RCS GRS

## RCS



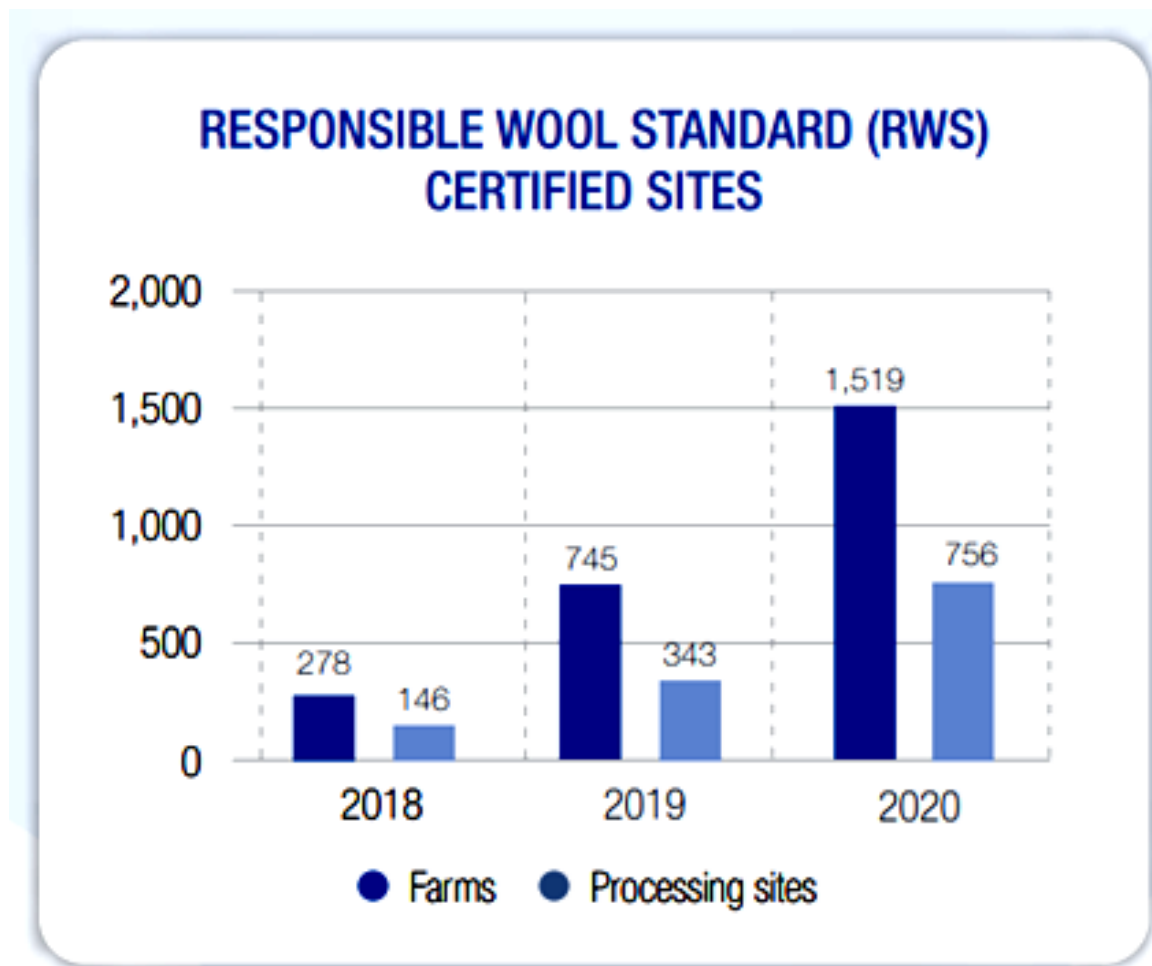
国内 53サイト 2023年10月現在

## GRS



国内 86サイト 2023年10月現在

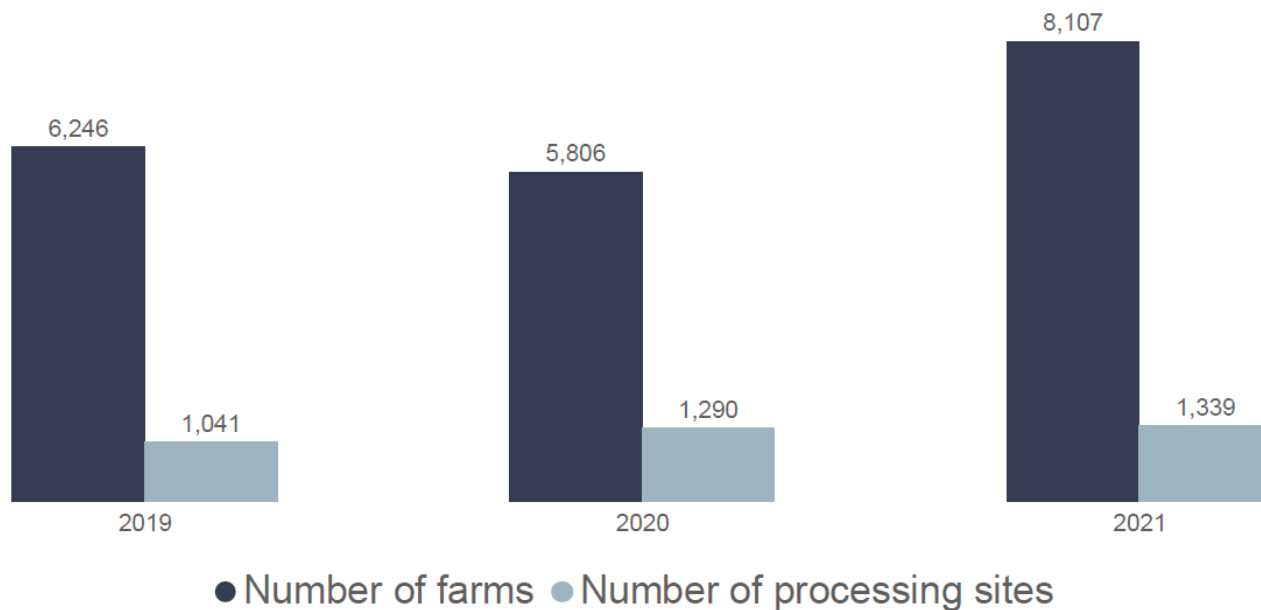
## 12. 認証取得状況 RWS



国内 9サイト 2023年10月現在

# 13. 認証取得状況 RDS

## Number of Responsible Down Standard (RDS) sites



Source: Textile Exchange

国内 4サイト 2023年10月現在

## 14. 認証に関する問題点

---

- ・BtoCに対する製品の認証主張については、ブランドまでの認証が必要だが、そこまで認証が進んでいなく最終製品に対する認証がほとんど進んでいない。
- ・GRSにおける水質、使用薬品に対するアセスメントのコストにより、薬品を多く使う染工所、加工所でのGRS認証が進んでいない。

# 15. サプライチェーンにおけるCoC認証要件CCSの主要ポイント

---

Textile Exchange認証基準CCS(Content Claim Standard)における主要ポイント

## 識別 (Identification)

- ・ 認証材が正確に識別されている。
- ・ 製品における認証材の混用割合が正確である。

## 分別 (Segregation)

- ・ 認証材(製品)と非認証材が混ざらない。
- ・ 認証材(製品)が非認証製品から分離され保管されている。

## 量の管理 (Volume reconciliation)

- ・ 入庫した認証材の量と生産ロス + 出庫認証製品に含まれる認証材の量が一致する。
- ・ 認証された出庫製品と入庫製品の同一性を確保。

## 16. CCS V3.1の構成

---

セクション A - 一般情報

セクション B - CCS認証の原則

セクション C - マネジメントシステム基準

セクション D - 処理および取扱い基準

セクション E - ブランド基準

セクション F - マルチサイトおよびグループ基準

CCSで求められる要求事項

# 17. GRS認証における要件

---

## リサイクル工程(リサイクル材生産)に関する基準

- ・リサイクル工程(リサイクル材生産に関する要求事項)
- ・社会的責任に対する要求事項
- ・環境に対する要求事項
- ・化学物質に対する要求事項
- ・Chain of Custody(物流管理):CCS(Content Claim Standard)基準  
各工程における投入材料の分別、識別、投入物と製品の量のバランスにおける基準の順守。

## サプライチェーン(製造、流通)に対する要求事項

- ・社会的責任に対する要求事項
- ・環境に対する要求事項
- ・化学物質に対する要求事項
- ・Chain of Custody(物流管理):CCS(Content Claim Standard)基準  
各工程における投入材料の分別、識別、投入物と製品の量のバランスにおける基準の順守。

# 18. GRSに求められる社会要件

---

## Section B – 社会的責任に対する要件

### B1 – 社会的責任に関するポリシー

### B2 – 社会的要件

B2.1 強制労働、奴隷労働、年季労働、および刑務所労働

B2.2 児童労働

B2.3 結社の自由および団体交渉権の実質的な承認

B2.4 差別、嫌がらせおよび虐待

B2.5 健康と安全

B2.6 賃金、福利厚生および雇用条件

B2.7 労働時間

# 19. GRSに求められる環境要件

---

## Section C – 環境要件

### C1 – 環境管理システム

#### C1.1 環境管理システム

#### C1.2 化学物質管理システム

#### C1.3 記録管理

### C2 – 環境要件

#### C2.1 エネルギー使用

#### C2.2 水の使用

#### C2.3 廃水/排水

#### C2.4 大気への排出

#### C2.5 廃棄物管理

# 20. GRSに求められる化学物質要件

---

## Section D – 化学物質要件

### D1 – GRS化学物質管理

#### D1.1 GRS製品の化学物質管理

#### D1.2 記録の管理

### D2 – GRSの規制化学物質

#### D2.1 本質的に問題のある物質 (REACH SVHC)

#### D2.2 特定の危険有害性コードまたはリスクフェーズで分類されている物質および混合物を除外すること

#### D2.3 ZDHCの製造時使用規制物質リスト(MRSL)に準拠していない物質を除外すること

# 21. 他認証との関係

---

## GRS認証における化学要件、排水基準

### 化学要件

- ・ZDHC (Zero Discharge of Hazardous Chemicals) MRSLを基準の一つとして採用。

### 排水基準

- ・ZDHC's Wastewater Guidelinesの排水パラメータを採用。

## OCSの受入れ可能な主張材料

- ・原則存在しないが条件付きでGOTSが認められる場合がある。

## 22. 統一規格の基準策定の要素

---

- **温室効果ガス**
- **土壌の健康**
- **生物多様性**
- **水源管理**
- **動物福祉**
- **労働者の人権・生計**
- **化学物質マネジメント**
- **廃棄物減量**

# 23. 統一基準 2026年導入必須化

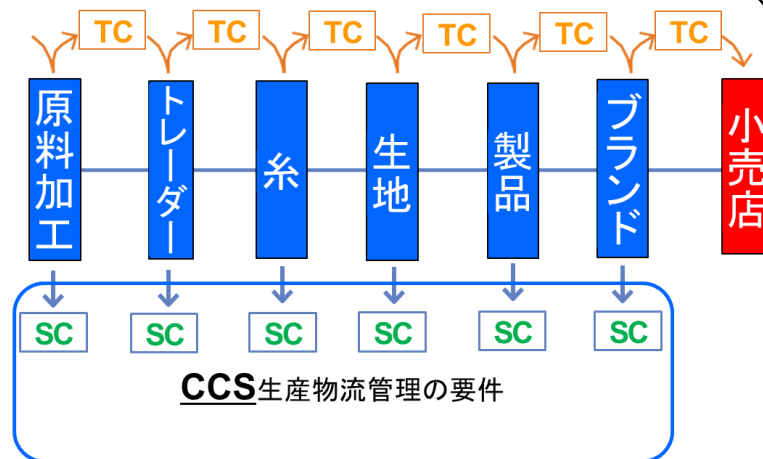


現在の基準構成

- ・天然植物繊維
- ・動物繊維・材料
- ・MMCF & ラテックス
- ・合繊含めたリサイクル
- ・生合成

Unified standard (統一規格)  
原料生産に関わる規格

+



統一規格での基準構成

ケケンは

GRS・RCS・OCS・RWS・RDS

への適合性を評価する為に認定されています。

規格について詳しくは

[textileexchange.org/standards](http://textileexchange.org/standards)

をご覧ください。

(各基準の認証範囲については下記問い合わせ先にお問合せ下さい。)

お問い合わせは・・・

一般財団法人 ケケン試験認証センター 認証事業部

E-mail : [contact-ninsho@jwif.org](mailto:contact-ninsho@jwif.org)